

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	より良いサービスが提供できるよう 独自の理念がある	その人らしく暮らし続けられるよう ニーズに合った介護理念を考えている
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	見やすい所に大きく書いてかけてある	毎日声に出して復唱し 理念の実践を常に心掛けている
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	面会や行事など折にふれ内容を 理解して頂けるよう取り組んでいる	ロビーの目立つ場所に理念を 掲げている
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	常に挨拶をしたり、行事等に 誘いをしてたり努めている	○ 行事のポスターを貼ったり、招待状を送ったりするが、もっと気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	こちらからの参加はむずかしい	○ 老人会、小学校の運動会等に 参加できるよう考えたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	その話し合いは現在持たれてない	○	利用者と職員などのような取り組みの出来るか話し合いを試みたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の実施も理解し その後の改善に取り組んでいる		外部評価の結果後は ミーティングで改善すべき点について 話し合いをする
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2~3ヵ月に一回 開催している 近況報告をしたり、意見 交換をしたりしている	○	2ヵ月に1回の開催の継続 外部から見取(構成員の方)意見を聞き 改善に取り組みたい
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在は行われていない	○	会議のきっかけを作り、それ以外で 会う機会を増やせるような努力を していきたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ミーティングで勉強会を行い活用できるように している	○	必要な方に活用できるよう 支援していきたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の意味をよく理解し 防止に努めている		常に話し合いの機会を持ち 見過ごしがないよう心掛ける

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をかけゆくりと説明、理解に努めている	契約時にひとつひとつ丁寧に説明し、意向を受けている それ以外でも納得のいくまで話し合える
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満、苦情を言える雰囲気づくりと心掛けている	常に管理者とコンタクトを取り、解決出来る事はすぐ解決する取り組みをしている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入所希望があった時に家族と何度か話しをする機会を設けている。又、その時に希望や心配事を聞くようにしている	○ できるだけ入所前に本人と一緒に施設見学をしていただいている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に投書箱を設けている	○ 行事、会議等に機会を設けるようにしたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のミーティングを行っている	月一回のミーティングにより定期的に意見の交換を行っている。 それ以外でも提案はすぐ聞いてくれる
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行っている。	時間帯に分けての勤務調整をしている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者に不安を与えないようにしている		馬川染みの職員が必ず一名はいる 誰でも対応できるよう職員は利用者全体とコミュニケーションを取るようになっている。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	進めている		希望に応じ積極的に機会を設けている。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会などで情報交換を行ったり、他法人のグループホーム見学も行ったりして交流が持てた。		もっと多くの交流を持つ機会を増やせるようにしたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間ほどゆくり過ぎせる		仕事場とは別に離れた所に休憩室があり、休み時間はリフレッシュできる
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勉強会 研修会 などの参加を積極的に勧めてくれる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	特別に機会は設けていない。 常に話しやすい雰囲気と声かけで対応	○ 利用者が自ら職員に何でも相談できるように今以上に信頼関係をもちたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時に心掛けている	○ 必ず面会時は家族との話し合の場を設け、常に家族の思いを受け止めていたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネージャー等にも相談し見極めるよう対応している。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験という形で対応している	家族を含め本人とも良く相談してサービスをすすめていくよう工夫している (各自に合うよう)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中でお互いを理解するよう努力し、信頼関係を築いている	○ 毎日の生活で困った事を一緒に考えたり、相談にのることでお互いの事を理解してゆきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	施設での生活の様子を理解して もらう事で 家族との関係も築いている	○	家族からの希望、要望と 理解し、よりよい関係を築いて いきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に 努め、より良い関係が築いていけるように 支援している	家での生活の様子をうかがう事で よりよい関係が築けるよう支援 している	○	プライベートにかかわらない程度で きき取りを行い 施設での生活に 生かしていきたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	時々、話題にして 思い出して頂くよう 支援している		年賀状や手紙を書くようにすすめたり している 電話するようすすめたりする
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが 孤立せずに利用者同士が関わり合い、支 え合えるように努めている	レクリエーションへの全体での参加	○	一人ひとりの性格に合わせ 楽しく 関われるよう 支え合えるよう 取り組みたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継 続的な関わりを必要とする利用者や家族に は、関係を断ち切らないつきあいを大切に している	現在は対象にばらられるような方が いない	○	季節の手紙（年賀状等）など出して 近況などをうかがうようにする

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来るだけ意向を把握しようと努めている	○	集団生活が困難な事もあるので、少しでも希望を取り入れるよう検討したい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や本人からの聞き取り等を把握する	○	わかる範囲で過去の生活を理解するよう努めていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の生活の中を常に注意を払い現状を把握するようにしている		少しの変化も見逃さないようケース記録などに書きとめる。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者で常に話し合い 家族などにも様子をうかがい (過去、現在) それぞれの意見を取り入れた介護計画を作成している		話し合いを密にしてより良いサービス計画を立てるようにしたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	担当者会議を開き計画の変更をしている。		変化には細心の注意を払いケアの変更は早めに相談、作成実践していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録をつけている 夜間はわかりやすく赤ペンで記入している	○	夜間の様子を個別にできるように考えたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	体験入所など行っている	○	色々なケースに対応できるように努力したい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年3回のボランティア活動 年2回 消防訓練、運営会議など		年間行事にそれぞれの機関と協力しているがもっと回数を増やしていきたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	連携機関との利用の支援は行っている		他の機関との支援も考えて行けたら良いと思う
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	センターからの依頼に答えている	○	もっと積極的に対協働も今後考えていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連携している医療機関がある為 かかりつけ医の受診は、内科以外の ものになる。		眼科、皮膚科等 連携の医療機関 以外のもは、かかりつけ医に家族と 受診している。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	連携している医師に相談・治療 を受けている		変化があればすぐ相談、対応 している。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	月に2回 訪問看護の支援 看護師の勤務		月2回と週2回の看護師の支援により、 安定的な健康管理が支援されている。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	連携の医療機関がある		医療機関との連絡は密にとり 早期退院を常に心掛け対応している
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	マニュアルがある ある程度の方針は出来ている		重度化の数は少ないが、今後の 対応に向けしかりとした方針を 見直したい
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	対応が不可能な場合、医療機関 での対応を重視している	○	出来る限りのところまでは対応できるよう 準備 相談に行っていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	退所までに時間をかけくり返し 相談・情報交換などの対応をしている 連携の施設の紹介、情報提供	○	利用者の気持ちが一番に考え 退所後のダメージを減すよう細かい ケアを心掛けたい
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	一人ひとりの情報を常に考え プライバシーの侵害には十分注意を 払っている		プライバシーにかかわる事は個々に 話すようにしている
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている	日常生活の中で利用者との会話を 増し、利用者がどのような希望を持ち 生活していきたいかを聞き出すようにしている		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	なるべくそのような支援を心掛けて いるが全体のペースで生活している	○	こちらの都合に合わせてではなく 一人ひとりのペースに合わせてられるよう 努力していきたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで けるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	20月に一度の訪問での散髪 美容院への予約		一人ひとりの好みに合わせた散髪を 行っている 希望により美容院も可能

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事の時の食事に好みを取り入れている。 下膳、テーブル拭き程度のお手伝いしか お願いしていない。	○	毎日の生活の中で好みに合わせた食事 考えたい 準備なども能かに合わせ配慮して行いたい。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	酒、たばこの支援はない。 おやつは個人的に家族に届けて 頂く程度	○	お酒については行事等を飲むよう 配慮したい 喫煙は防災の為考えていない
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間ごとのトイレ誘導している 排泄スケジュールの活用とコントロール		本人の希望と考慮しての支援。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間帯が決まっている	○	利用者の希望に合わせてられるような 方向を考えていきたい
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	室内環境を整えている。 個室対応		温度計を設置したり、換気に気を つかっている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	室外でのレクリエーション(歌、体操) その方のお手伝い おり紙(くす玉、箱)		一人ひとりに合った役割や 楽しみがみつけられるよう考えていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持して自由にお金を使っている方もいるが、全員が同じではない	○	館内にある自動販売機の使用程度にとどまっているので、違う形での支援を考えていきたい。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりに希望にそっての外出は多い。	○	家族がみえた時に出かける支援は行っているが、利用者の希望にそった外出が出来るよう考えて行きたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	機会がまだない。	○	家族との外出は支援している。しかし、全員の方への支援は難しく、機会が持てるよう考えていきたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙や、電話の取りつきを行っている。		自由に電話をかけた。(公衆電話)かけてあげた。支援している。 手紙が書ける方には同じよう支援している
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	お茶等と接待し環境作りに心掛けている。		ゆっくりとした面会時間が過ぎると喜んで頂いている。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日頃から拘束について考えるよう取り組んでいる。		講習会や本、研修など知識の向上を図れるよう常に努めている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の窓の鍵はかけていないが 玄関は鍵がかけられている	○ 弊害については十分理解しているが 危険防止の為玄関にのみ施錠 している。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守り・声かけにより十分 気をつけている。	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人又は家族の同意の上 管理している。	○ 状態に応じた適切な対応を 心掛けている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	講習や消防訓練 などを受け 事故に至らないよう 注意を払っている	講習や本ほども常に学ぶ姿勢を 忘れず、安全に心掛ける。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	対応マニュアルにそって準備している。	○ 事故発生に備え、積極的に 講習等に参加したい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回 避難訓練を実施 している	○ 地域とのつながりを密に取るよう 心掛け、協力いただけるよう日頃から お願い、おつき合いと心掛ける

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	面会時 起こりうるリスクについて 説明するようにしている		その方の現状を把握できるよう 連絡を密に取る事に心掛ける
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	速やかに医療機関へ連絡し 対応の指示を仰いでいる		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	きちんと服薬するようフルネームを名前を 呼び、飲み込まれるまで確認 している。(口に入れている)		薬についてある程度の知識を 理解しておく。体調変化に気を付ける
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体操、散歩(館内)をレクリエーションと 取り入れる努力と、水分摂取に気を付けて いる。		排便チェック表を利用し便秘、下痢 を把握し、それぞれの対応を行っている
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	毎食後にロビーの洗面台で口腔ケア を行っている。特に夕食後はカテキン を利用したうがいをしている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量を表でフェル ミリー人の量を毎食把握している		食事と一緒に摂りはがらミドリミドリ に注意し、声かけしはがら摂取量が 確保できるよう支援している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルが目立つ所にあり 手すり、椅子の消毒 食前にヘキザック液で手の消毒をしている		感染について正しい知識を持ち 常に予防を心掛ける
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎日新鮮な物が届けられ 衛生管理は常に気をつけている		職員ひとりひとりの認識を高める よう努力したい
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	草取り、樹木の手入れを行い 季節の花の植えて明るい雰囲気 を作っている		利用者や家族が外気浴を 楽しめるようベンチが設置にある
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花など飾っている (玄関、居間、食堂)	○	今、以外の場所 (トイレ、浴室) にも何か工夫をしたい
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビを設置しソファがあり ロビーを話したりできる	○	屋外等自由に行き来できる ような工夫を考えた

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 <input type="checkbox"/> 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	本人の好みに合わせるようにしている		家電製品の持ち込みは ありたいが、希望があれば その都度 考えてみたい。
84 <input type="checkbox"/> 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	芳香剤、温度計の設置		季節に合わせた換気 気温に 注意している。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 <input type="checkbox"/> 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	バリアフリー、手すりをつける事ど より安全と自立を支援している	○	危険がないよう常に心掛けたい
86 <input type="checkbox"/> わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	声かけ、目印し等わかりやすい 工夫をしている。	○	今持っている力を十分に生かせる 支援をしていきたい
87 <input type="checkbox"/> 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	外周りはバリアフリーではないので 特に活動してほしくない	○	花や野菜づくりなど一緒に 園芸等楽しめるよう努力したい

(部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・交通のアクセスが良く面会に立ち寄りやすい
- ・食事の面が充実している。
- ・利用者の方が何の不安もなく、安心して暮らしている。